

おにぎり通信

2016年 3月5日 (土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

お知らせ

少し先のことになりますが、あらかじめお知らせしておきます。

3月26日 (土) 訪問と28日 (月) 福祉行動

をお休みさせていただきます。よろしく願いいたします。

(福祉行動報告) 2月22日 (月)

Aさん (50代) 通院のため、千代田福祉で特別診療券を受け取られました。



次回の福祉行動：3月7日 (月) 東京駅丸の内北口地下に朝8時30

分までに集合してください。喫煙所横、コンビニの並びの赤富士の絵の

ところに「おにぎり通信」を持った者が待機しますので、声をかけてく

ださい。病院に行きたい方や、体を休めたい方と一緒に「福祉事務所」や「聖イグ

ナチオ生活相談室」まで、ボランティアが同行いたします。福祉行動は毎週月曜日

(月曜日が祝日のときは火曜日) です。福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご

自身の希望をご自身の言葉でハッキリと伝えることにより成り立ちます。

最寄の福祉事務所ほか

中央区福祉事務所・中央区築地 1-1-1 中央区役所 4階

千代田区福祉事務所・千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 3階

聖イグナチオ生活相談室・千代田区麴町 6-5-1 聖イグナチオ教会内

もり 「森のイスキア」

あおもりけん いわきさん すくもと おとず ひと い ば もり
青森県の岩木山のふもとで、救いを求めて訪れる人たちの癒やしの場「森のイス
キア」を主宰した佐藤初女さんが、2月1日に病気で亡くなりました。かなり前に
なりませんが、「おにぎり通信」でも佐藤初女さんの活動をとりあげました。

さとう ねん なや かか ひと したく ひろさき う い
佐藤さんは1983年から悩みを抱えた人たちを自宅「弘前イスキア」に受け入れ、
92年には岩木山の山麓に「森のイスキア」を開設し、訪れた人たちの悩みに耳を傾
け、食でもてなし、癒やすことで、その人たちの再出発を支えてきました。

こころ や ひと く からだ や ひと く おも かる
「心を病んだ人がやって来る。／体を病んだ人がやって来る。／重いのなら、軽い
のなら、荷物を背負ってやって来る。／そして／気が付けば、自分で荷物を降ろし
て帰っていく」

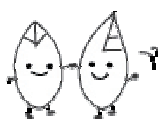
さとう おとず ひと りょうり つく いっしょ た
佐藤さんが、訪れた人たちにしていることは、料理を作り、一緒に食べることだけ。
そして話したくなった人の傍らでじっとその人の話に耳を傾ける。悩みを抱えた人、
心を病んだ人たちが佐藤さんの料理に接し、やがて心を開いていく。

さとう
佐藤さんはかつて、こんなことをおっしゃっていました。

しょくじ い わたし おも ゆ
「食事したりすることが『生きる』そのものだとは私は思っています。茹でるとか、
き ちぎるとか、味付けするとかって、どこ1つ、おろそかにしてもおいしいものはでき
ないし、大切にしなければいけないので、『調理すること』が『生きる姿』そのもの
だと思っんですよね。……ごはん炊くのだって、米の研ぎ方とか、スイッチの入れ
る時間とか、もちろん水加減、できた時のほぐし方、よそい方、ご飯1粒ひとつづ
が呼吸できるようにって。食べてみて初めて見えない何かを感じてくれるんですね」

さとう じっせん おそ
佐藤さんの実践に、たくさんのことを教わりました。

なかま こころ こ つく
おにぎり仲間のおにぎりも「おいしくなりますように」と心を込めて作っています。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ
箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりは
かならずその日のうちにお召し上がり下さい。一人でも多くの方に召
し上がっていただくため、おにぎりは一人一個でお願いいたします。

四ツ谷おにぎり仲間 連絡先：080-7795-8535